

東レ、ポルトガルにUltrasuede®ショールームを開設 ～Alva社と協業、縫製事業開始で欧州サプライチェーンを強化～



2026年1月20日

東レ株式会社

東レ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：大矢 光雄、以下「東レ」）は、東レグループ会社のスウェーデンのエアバッグ縫製メーカー Alva Sweden AB（本社:スウェーデン王国ヴェストラ・イエータランド県モルンダル市、社長:倉本 将秀）のポルトガルにおけるエアバッグ縫製拠点であるAlva Confecções S.A.（所在地：ポルトガル共和国シントラ市、以下「Alva社」）の工場敷地内に、Ultrasuede®専用のショールーム兼ストック販売拠点を2026年1月に開設します。また、Alva社の既存設備を活用して、Ultrasuede®として初めてとなる縫製事業を開始します。

Alva社は、1965年にポルトガルで設立された縫製専門企業で、欧州における東レグループの重要なエアバッグの縫製拠点として機能しています。このたび、ポルトガルでショールーム兼ストック販売拠点を開設することで、現地のインテリア・家具業界向けを重点ターゲットとしながら、ファッション・雑貨・家電・自動車業界向け等にも幅広く、提案力をさらに高めてまいります。また、Ultrasuede®の縫製事業により欧州でのサプライチェーン体制を強化し、これにより、Ultrasuede®の欧州市場に向けたストックオペレーションを迅速化するとともに、裁断・縫製まで一貫したサプライチェーンの構築を目指します。

ショールームの空間デザインは、ポルトガル出身のRui Pereira氏（HAYデザイン&ビジュアルディレクションマネージャー）と日本出身のRyosuke Fukusada氏（FUKUSADA STUDIO主宰）のデザイナーデュオが担当しており、両氏の多様な文化的背景を活かし、Ultrasuede®の柔らかな風合いと高い機能性を最大限に引き立てる、洗練された展示空間を創出しました。

また両氏がデザインを担当し、デンマークの家具ブランド「PLEASE WAIT to be SEATED」との協業により誕生した、Ultrasuede®を張地に採用した新ソファ「ANZA（アンザ）」も設置されています。

Ultrasuede®は「素材の進化で、まだ見ぬクリエイションを共に。社会をより豊かに、美しく。」のビジョンのもと、東レグループの企業理念である「わたしたちは新しい価値の創造を通じて社会に貢献します。」の実現に向けて挑戦してまいります。



<Alva社>



<ショールーム入り口>

<ご参考>

【ショールーム インテリアコンセプト】

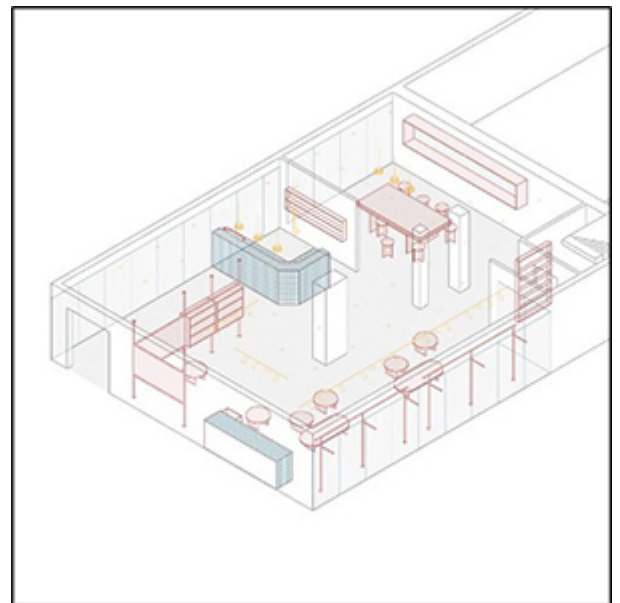
窓のない工場内の空間に圧迫感のない落ち着いた雰囲気を作り出す事を目指し、フランスのミッドセンチュリースタイルをデザインのインスピレーションとしました。バーチ合板によるエレガントな壁面で空間を包み込み、工場の工業的な空気感との対比を作り出しています。

また、ポルトガルというロケーションを考慮し、現地のハンドクラフトタイルメーカー、Viúva Lamegoの高光沢ブルーセラコッタタイルを受付カウンター、サンプル収納用サイドボード、洗面スペースに採用しました。マイクロセメント仕上げのフロア、バーチ材の壁面、塗装された鋼材什器に対して、タイルが色彩豊かなアクセントとなっています。

空間の中央には、Ultrasuede®の多彩なカラー、加工のバリエーションを見る事が出来るオリジナルのハンガーラックを設置しました。ANZAコレクションのベンチ、スツール、テーブルが設置されたラウンジエリアでは、直接素材の張地に座り、触れる事でそのテクスチャーを体感できます。

ミーティングエリアには、ミニマルなテーブルとUltrasuede®の張地で仕上げたオリジナルスツールを配置し、ストックルーム側の壁には、広い窓を設置する事で二つのエリアを視覚的に繋ぎ、開放感を与えました。

工場からショールームに入ると、柔らかな光とバーチ材の温もり、そしてUltrasuede®の豊かな触感に包まれます。



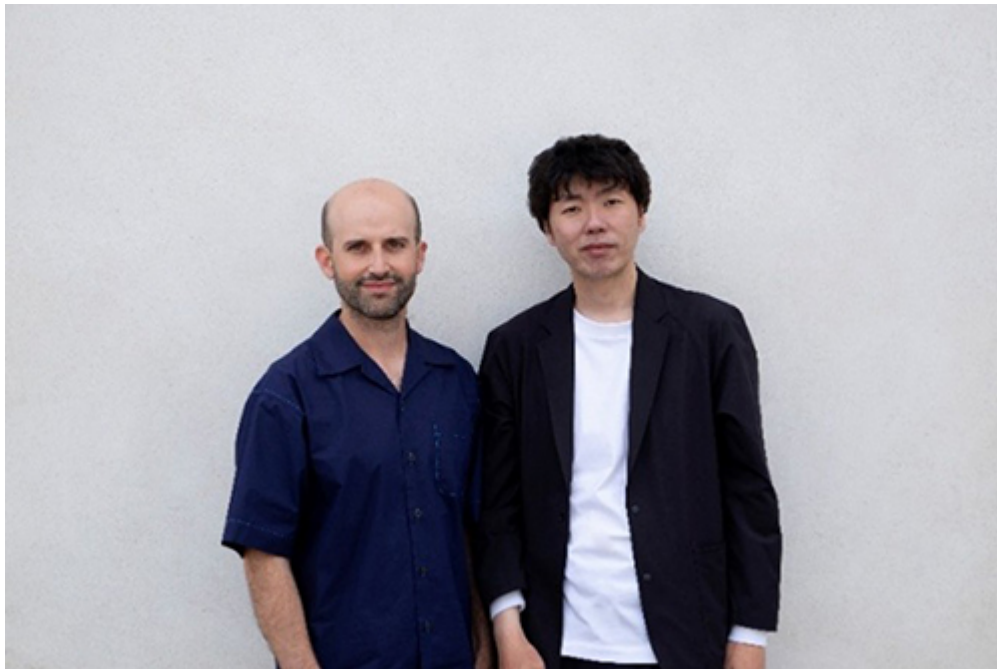
<フルリノベーションで設計>

その二つのエリアのコントラストが、より洗練された空間
とそこでの体験を生み出します。





【デザイナープロフィール】



ポルトガル出身のデザイナー [Rui Pereira氏](#) と日本出身のデザイナー [Ryosuke Fukusada氏](#) は、長年にわたり、それぞれの文化を背景にしたプロジェクトを通じて、ユーザーにとって新鮮で意外性のあるデザイン体験を提供するコラボレーションを続けてきました。

二人はミラノの同じデザインオフィスで出会い、育った環境やバックグラウンドが大きく異なるにもかかわらず、デザインに対する価値観や目指す方向が驚くほど一致していることに気づきました。両者の活動に共通するのは、世代を超えて長く愛されるプロダクトを生み出すこと、そしてそこに体験や感情を深く込めるという姿勢です。共同作業では自然と互いの文化的背景を融合させ、素材と技術の可能性を徹底的に探求しながら、鋭い感性でシンプルかつ意義深いデザインへと昇華させています。

【ANZA（アンザ）】

デンマークの家具ブランド「PLEASE WAIT to be SEATED（PWTBS）」との協業により、Ultrasuede®を張地に採用した新ソファ「ANZA（アンザ）」が誕生しました。Rui Pereira氏とRyosuke Fukusada氏がデザインしており、両氏が2019年よりPWTBSと継続的に協働してきた集大成となるシーティングコレクションの中心製品です。

「ANZA」のネーミングは日本語の「安座（心地よく落ち着いて座る）」に由来します。本ショールームではUltrasuede®が持つ上質な質感と高い耐久性を活かしたコーディネートを提案します。

・ANZA（アンザ）webサイト：

<https://www.pleasewaittobeseated.com/en/chairs-seating/anza-pouf-benches>

本事業に関するお問合せ 

東レ公式SNS



note



Copyright © 2026 TORAY INDUSTRIES, INC.